

2023年度 居住福祉人材養成 及び居住福祉学セミナーのご案内 (ZOOM開催)

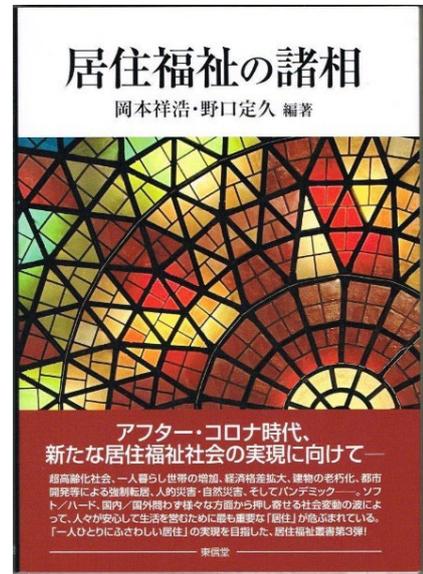
【趣旨】

新型コロナによる社会の危機から、これほど国や世界のつながりが目に見えてきたことはなかったのではないかと思います。迅速に出された学会の宣言も素晴らしかった。コロナによって地域社会に様々な要因が降りかかって、地域により様相が異なってきますが社会のつながりという仕組みが目で見ることができた。地震や津波や台風や原発災害など広範に襲い掛かる事態とそれへの対応から、人々、市民は共同で助け合うことはするがそこから先に人と人のつながりをどう作り目指すのかという点で、成功しているわけではない。

早川先生は居住福祉という人間社会の基礎的部分の維持と充実を、人間の権利として、さらに日本の地域居住資源の見直しによる社会統合を身近にする生き方を、共同体の研究として、任意に研究会を持ち、身体を押しながらかつてこられました。つまり18世紀後半あたりからのユートピア実践や研究の後を手繰りながら社会主義の壮大な実験を経て、今日の現代社会の実態分析、更に将来の新しい社会構造・仕組みの創造と維持を、研究する、全体で4巻本くらいの「共同体の研究」が大事だと、ご自分も初期の研究を幾本か論文にまとめておられることを楽しそうに語っておられました。(東信堂 下田社長)

このような意図で編集された『居住福祉の諸相』は日本社会のパラダイム転換を目指すものであります。その趣旨は、①人間いふさわしい居住空間を形成する主体となる制度、社会システム、教育などのあり方を、市民自らが追究し、それらに資する社会システム、技術、自然などの「居住福祉資源」を発見し評価すること。②高齢者や障害者が社会的入院などではなく、「住宅」または「地域内居住」といった環境で暮らせるようにするなど、居住に関する諸課題に対し、的確なマネジメントを行う人材を国家資格の「居住福祉士」制度創設のための教育制度をつくること(居住福祉叢書の刊行趣旨、早川和男)。

2024年の幕開けは、能登半島地震や日航機と自衛隊機の衝突事故など大惨事が続きました。まだ、地震活動が長引いており、被災者の生活再建や被災地の復興に遅れが生じています。災害関連死の方々も増えています。居住福祉の観点からの生活再建や地域の復興が急がれます。今回の居住福祉人材養成講座及びセミナーにおいてはコロナ禍における『居住福祉の諸相』の刊行を基本に、災害や気候変動、感染症が頻発する日本列島の「居住福祉資源列島改造論(計画)」に焦点を当て、居住福祉学会の取り組む実践行動とその担い手の人材育成のあり様を議論したいと思います。関心のある皆様方のZOOM参加を期待しております。



【開催概要】

テーマ:「居住福祉の諸相-居住福祉資源列島改造論(計画)の実現に向けて」

開催日時:2024年3月24日 13:00-16:30

開催方法:オンライン(Zoom)

報告者及び報告内容について一部変更することがあります。

●13:00-13:10 開会 オリエンテーション

総合司会 黒木宏一 (日本居住福祉学会事務局長、新潟工科大学工学部工学科)

●13:10-13:40 開会あいさつと「本書の概説」 - 問題の提起

岡本祥浩 (日本居住福祉学会会長、中京大学総合政策学部教授)

コーディネーター 野口定久 (日本居住福祉学会副会長、佐久大学人間福祉学部教授)

●13:40-14:10 報告1

松下茉那 (大阪公立大学都市科学。防災研究センター特別研究員/神戸市職員)

発題: 東アジア大都市における居住問題と居住福祉の実践

【ポイント】

- 空き家を社会的資源として活用する日本
- ソウル市による社会住宅の実験
- 台北市の住宅政策

●14:10-14:40 報告2

野村恭代

(大阪公立大学大学院現代システム科学研究科兼都市科学・防災研究センター教授)

発題: 社会的包摂と居住福祉-地域コンフリクトの克服

【ポイント】

- 社会的排除としての地域コンフリクト
- 住まいに対し発生する地域コンフリクト
- コラム: コロナ禍における精神科病院の課題

●14:40-15:10 報告3

野口定久（佐久大学人間福祉学部教授/日本福祉大学名誉教授）

発題：コモンの再生から見た居住福祉の構想

【ポイント】

- 気候変動による地球環境の危機
- COVID-19 危機と居住福祉
- 居住福祉資源列島改造論

15:10-15:20 休憩

●15:20-15:50 報告4

神野武美（ジャーナリスト/元朝日新聞記者）

発題：「居住福祉」と経済発展・政治意識

【ポイント】

- 資本主義の成立・発展期の居住福祉思想
- 「被災者生活再建支援法」を実現させた「市民立法」運動
- 蔓延する社会的非効率

●15:50-16:30 まとめの報告

岡本祥浩（日本居住福祉学会会長、中京大学総合政策学部教授）

発題：居住福祉人材養成教育

【ポイント】

- 居住福祉人材養成教育の見取り図
- 居住福祉の評価
- 「生きる力」、居住福祉を身に付ける

16:30 閉会

●参加申し込みは、日本居住福祉学会事務局(新潟工科大学黒木研究室)へ
ZoomのURLを送ります。 kurogi@niit.ac.jp

●テキストは『居住福祉の諸相』東信堂、2023年10月発行、2000円＋税
東信堂 tk203444@fsinet.or.jp 電話03 - 3818 - 5521（別途：特価注文票）